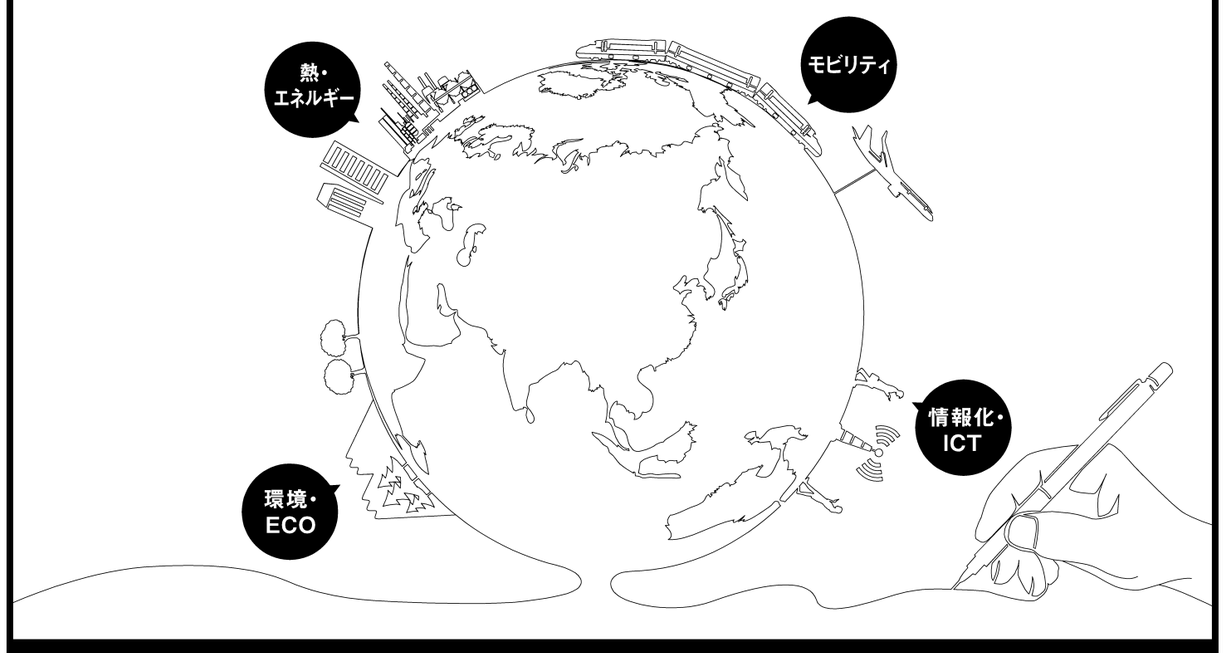
SPP

グローバル成長分野で、価値を創造

航空宇宙機器から小型センサまで、グローバル・レベルでの成長が進む各分野で
世界をリードする独創的な技術・製品を提供。
顧客に確かな価値をお届けし、社会に貢献してまいります。



住友精密工業株式会社　http://www.spp.co.jp/
本社・工場　〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町1-10　TEL(06)6482-8811
東京本社　〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2(経団連会館15階)　TEL(03)3217-2810
主要製品　航空・宇宙／熱交換器／油圧制御／環境システム／MET／マイクロテクノロジー／センサ／燃料電池

メッセージ

伊丹商工会議所　北嶋一郎会頭

関西3空港の活性化カギ

大阪国際空港は本年で開港してから75年の歴史ある空港です。歴史をひもといてみると、1939年1月17日に大阪第二飛行場として、兵庫県川辺郡神津村(現在の伊丹市の一部)に開設。太平洋戦争中は軍用空港として使用されていました。敗戦後は占領軍に接収され伊丹エアベースと名付けられました。接収解除後、58年3月18日に大阪空港として再開港して、59年7月3日には第1種空港として国際路線を開設し、同時に大阪国際空港に改称しました。その後、64年6月1日よりジェット機の乗り入れが開始しボーイング707やダグラスDC−8などの大型ジェット機が相次いで就航しました。これらに対応するため、70年2月5日には3000㍍の滑走路が供用開始され、現在の大阪国際空港がほぼ完成しました。国際線は94年9月3日まで発着していましたが、9月4日に開港した関西国際空港に移転した後はオウンユースチャーター機・要人専用機以外は就航していないのが現状です。

このようにさまざまな外部環境により大阪国際空港は変化してきたといえます。これから関西国際空港との経営統合に基づくコンセッションが実施されますが、民間経営理念により、さらに大阪国際空港のフル活用の促進と、進化されることを期待するとともに、神戸空港を含めた関西の3空港の活性化が、関西経済ひいては、日本経済の発展に寄与するのではないでしょうか。安全性と環境問題を最優先に考慮し、「利用者ニーズ」を踏まえた活性化策を図り、近い将来、「近距離国際線の就航」が実現するよう活動を進めてまいります。

“モノづくり産業都市”

都市型先進空港へ

新ターミナルビル開業で

伊丹市

伊丹空港に20年春

1939年1月に開港し、75周年を迎えた伊丹空港。プロペラ機枠の一部を低騒音機枠へ転換したことによる増便などから、13年度の航空機発着回数は前年度比9％増の13万9000回と利用が伸びている。一方で69年に開業した伊丹空港ターミナルビルは老朽化が進んでおり、開業以来の大規模改修に15年春に着工する。16年秋に中央エリアを先行開業、東京五輪に間に合うよう20年春に全面開業する。

空港を運営する新関西国際空港の安藤圭一社長は、大阪中心部からの近い立地を生かし「ビジネスマンがスピーディーでスムーズに移動できる都市型先進空港を目指す」と述べ、利便性向上や耐震性の確保などを図る。投資額は200億円強。

小型機対応のフィンガー(桟橋)を新設し、国産小型旅客機「MRJ」などの小型機に搭乗橋でスムーズに乗降できるようになる。ビルの入り口にはペデストリアンデッキ(歩行者用通路)を設けて動線を見直し、出発・到着時の移動距離を短くする。ムービングサイドウォーク(動く歩道)は現在の2基から23基に大幅に増設。これらの取り組みで歩行距離の短縮や移動の迅速化を図る。

最新技術も導入する。搭乗手続きでは、インラインスクリーニングシステムや、ICタグなど最先端のセルフチェックインの導入を検討。環境にも配慮し、雨水利用や照明の発光ダイオード化、空調の高効率化に取り組む。Wi−Fi(ワイファイ)は全館に導入し、現在の受信範囲60％から100％にする。商業施設は広さはほぼ変わらないものの、関西名物を楽しめる飲食エリアなどを作り、魅力ある店舗へ改装する。

安藤社長は「商業施設の売り上げは増える見通し」とする。国内線の関西の玄関口である伊丹空港が生まれ変わることで、周辺への活性化にもつながりそうだ。

伊丹に本社移転

東洋ゴム

迅速な意思決定の効果期待

東洋ゴム工業は2015年8月に本社を伊丹市に移転する。創立70周年を記念する事業として位置付けられ、目下、新本社社屋の建設が進められているところだ。

伊丹市はかつてトラック・バスなど自動車用タイヤを生産していた主力拠点のあった地域。98年に近隣宅地化などで手狭となったことから桑名工場(三重県東員町)への生産移管で閉鎖したが、研究開発部門は同所に残った。

新本社棟は01年に稼働したタイヤ技術センターの隣接地に地上6階建て延べ床面積8千平方㍍規模で建設。完成後は約350人が勤務する。

13年には川西市に材料や生産技術の研究開発拠点も移転し、猪名川沿いに両開発拠点と本社が近接して集積する。信木明社長は、その狙いについて「経営と事業企画、技術の間で密度の濃い議論ができる」と話す。

東洋ゴムは北米を中心にSUV(スポーツ多目的車)用タイヤが好調。現地社を買収したマレーシアでは新工場も軌道に乗せるなどグローバルに事業が広がっている。伊丹の新本社は、迅速な意思決定や業務効率化に効果が期待されている。

あまがさき産業フェア2014

尼崎市中小企業センターで16日から開幕

尼崎市や尼崎地域産業活性化機構、尼崎商工会議所などで構成する尼崎産業フェア実行委員会は16、17日の両日に尼崎市中小企業センターで「あまがさき産業フェア2014」を開く。31回目の今回は「ものづくりの未来形―未来のモトはここにある―」をキャッチフレーズに、元気な地元企業の技術力を紹介する。

出展規模は40社・団体、53小間で、うち7社・団体が新規出展。7月に尼崎市と「産業交流等の推進に関する確認書」を交わした京丹後市と丹後地方に集積する機械金属関連企業群「丹後ハイテクランド」も出展する。16日には、日産自動車を経てアウディで代表車種「A6」などのデザインを担当した和田智氏のトークショーを実施。

16日のオープニングを行う17日のオープンイノベーションとニーズ発表会には、ジョンソンコントロールズが参加。大阪大学や神戸大学、産業技術短期大学、兵庫県立大学の研究事例やシーズの発表会も両日行う。問い合わせは同フェア実行委員会(尼崎地域産業活性化機構内、06・6488・9501)へ。

話題の超小型車「日産ニューモビリティコンセプト」の実車も展示する。

大手企業の取り組みやニーズを紹介しマッチン

あまがさき産業フェア2014出展企業(50音順)

【ア行】●(同)アイアールプランニング●尼崎市産学公ネットワーク協議会
●尼崎商工会議所起創会●尼崎商工会議所サムライ研究会
●尼崎信用金庫●㈱エーリック(尼崎リサーチ・インキュベーションセンター)
㈱計装サービス、Biocosm㈱、マルチ㈱
●大阪富士工業㈱●音羽電機工業㈱●(有)オンケン

【カ行】●鹿島化学金属㈱●㈱関西工事●関西メディア㈱●木村化工機㈱
●京丹後市●(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所

【サ行】●㈱桜製作所●㈱サンテック／(有)嘉月堂●神鋼建材工業㈱
●㈱スギモト●ゼロラボ㈱

【タ行】●大和リース㈱●高丸工業㈱●丹後ハイテクランド●㈱トーホー／
フェイステック㈱●㈱特発三協製作所

【ナ行】●㈱ナカムラ●㈱日興商会●㈱ニプロン

【ハ行】●長谷川電機工業㈱●浜田化学㈱●兵庫県阪神南県民センター
●兵庫県信用保証協会 阪神事務所●㈱ビルティ

【マ行】●丸一興業㈱ bolda事業部●宮崎建設㈱●㈱メルシー

【ヤ行】●㈱ヤマシタワークス／日本スピードショア㈱

【ラ行】●理想科学工業㈱●菱彩テクニカ㈱●ロジ・コンビニエンス㈱

伊丹米

こだわりのおいしさ、12銘柄。

北海道産 きらら397　秋田県産 あきたこまち　山形県産 はえぬき　宮城県産 ひとめぼれ　新潟県産 コシヒカリ　新潟県魚沼産 コシヒカリ

千葉県産 コシヒカリ　石川県産 コシヒカリ　兵庫県産 コシヒカリ　滋賀県産 キヌヒカリ　島根県産 きぬむすめ　複数原料米

伊丹産業株式会社
〒664-8510　兵庫県伊丹市中央5丁目5番10号　TEL 072-783-0001㈹
伊丹米オンラインショップ　お米くらぶ　お米くらぶ　検索

甘さもスリムもあきらめない!! 次世代甘味料!!

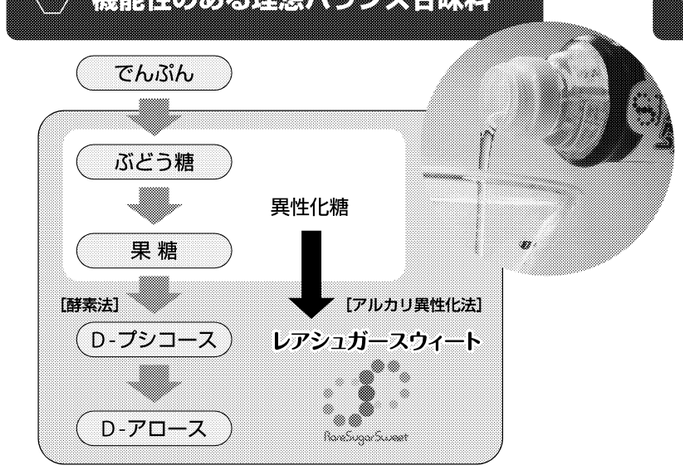
レアシュガースウィート

THE RARE SUGAR BRAND

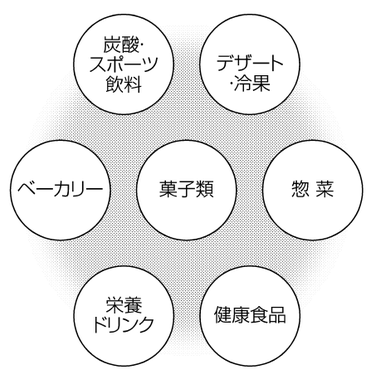
希少糖

希少糖 は、自然界には存在量が少ない単糖で、香川大学の何森先生の研究により大量生産が可能となりました。
希少糖の D-プシコース や D-アロース は、豊富な機能性を持つことから注目が集められています。
ぶどう糖・果糖・希少糖をバランス良く含む希少糖含有シロップ(商品名：レアシュガースウィート)は、
砂糖の9割の甘味度で自然な甘さです。

機能性のある理想バランス甘味料



甘味料として様々な食品にご使用頂けます。



販売者お問合せ　でん粉の総合メーカー　松谷化学工業株式会社　MATSUTANI
兵庫県伊丹市北伊丹5丁目3番地
TEL 072-771-2010 FAX 0120-111-657
受賞 新技術・食品開発賞 第27回(平成25年度)